



REBORN Ecotourism Network

リボーン <エコツーリズム・ネットワーク> エコツアー・レポート 2009 新春



← ニュージーランド、
ワイボウア・フォレスト
ラン&ウォークにて

スウェーデン、CSR 視察
ツアー(農村ステイ時) →



2009 年のおすすめ健康法 日本を元気にするビタミンを農山漁村体験エコツアーで吸収!

2009 年は丑年、年賀状をはじめいろいろな牛たちが目に入ってくることでしょう。私の歳には少年時代のセピア色の思い出と同時に、最近旅した中国や東南アジアの農山村で水田を耕す力強い牛の姿が浮かんできます。過ぎ去った 2008 年の干支は、農家の土蔵の住人、鼠でした。竜と虎以外は日本の農山漁村のどこにも見ることができる循環型社会に生きる生物です。人間の生活に直結するところに彼らも生息しています。地球温暖化対策に悩みつ、経済危機に陥り、生きる喜びを失いそうになる人間にとって、救いの手はあるのでしょうか?

煮詰まったときは火を止めて、静かに 1 年を振り返ってみました。エコツーリズム・プロデューサーを生業とする自分の動きが随分グリーンツーリズムに比重が置かれてきたことがわかります。

1 月東京都松原村での森林再生活動を紹介する文化放送ラジオ番組に協力、2 月世界遺産の白川郷での洋風自然学校と歴史を刻む民宿での暮らし体験、3 月栃木で日本屈指のココファームワイナリー訪問、4 月東京都民の水源・桐生川源流林植林、5 月長野県佐久の森植林、6 月四万十町限界集落活性化グリーンツーリズム人材養成、7 月北海道定山溪森林スポーツフェスタ、8 月琵琶湖伝統漁業体験、千葉佐倉・里山のある暮らし体験、9 月高尾山森林マラソン&ノルディックウォーキング、10 月赤城自然塾・炭焼き植林、11 月渡良瀬オーガニックコットン収穫、12 月千葉大豆収穫。ほとんどのツアーで天ぷら油リサイクルバスを利用し、カーボンオフセットを実践しました。

海外でもマレーシア、インドネシア、ニュージーランド、フランス、ドイツ、スウェーデンなどで大都市でのエコライフだけでなく、農山漁村での持続可能なライフスタイルを体験しました。

それらの体験後の疲労感、爽快感が吹き飛ばしてくれました。飲食の満腹感も、消化のいいオーガニック素材のお陰で、血の巡りが阻害されませんでした。贅沢、贅肉とは縁遠い、スッキリした生活ができるようになったのは、それが元気の源だったかも...

丑年のライフスタイルは農耕牛のいる風景の中に身を置いて、食物の国内自給を応援しつつ、自分自身でもできることを試してみよう。そこには最強のビタミンが蓄積されているはず。信頼できる人々が作ったものに、きちんと支払って、しっかり応援して、美味しく食べて、しっかりスポーツして、ささやかな幸福感をシェアしていければと願います。

新宿御苑を一望できる事務所に移転したのは 2008 年 5 月 1 日。ニューヨークのセントラルパークを連想する景色に魅了されました。いい環境はビタミンをどんどん産み出してくれます。だから生業を頑張る。持続可能な社会の一員として価値観を共有できる仲間、顧客、家族と進んでいければ...と願います。たとえ牛歩のようなスピードであっても。

2008 年師走 エコツーリズム・プロデューサー
壱岐 健一郎



福岡県篠栗町のクスノキ(しょうのうの原料)の樹木から作ってもらった「干支の丑」に文字入れをしました(壱岐)



◆ <ロコミ情報> スウェーデン・デンマーク 下見ツアー (下見に同行しませんか?) ◆

CSR、自然エネルギー、環境教育、オーガニック食品、ヘアデザインやエコツーリズムの 素材を探しに行きます。2009 年 12 月地球会議 COP15 が開催されるコペンハーゲンにも立ち寄り、新たな情報を得るための下見ツアーです。お客様扱いはできませんが、円高とオフシーズン航空運賃のメリット、そして、宿泊場所として快適なホテルを利用し、スーパーで買物し自炊をしたりして、節約するとともに、スウェーデンの市民生活を体験し、ライフスタイルを学ぶことも目的です。交通費(航空運賃・列車代・車代)と宿泊代、解説込みで 25 万円以内をしたいと思います。たまたま帰国中の「持続可能なスウェーデン協会」日本代表で、日本・スウェーデン両国の環境政策に精通したレーナ・リンダールさんが特別に案内してくれます。ご興味がありましたらご連絡ください! 実施予定人数は私、壱岐も含めて 10 名です。

◆ 期間: 2009 年 2 月 8 日(日)~2 月 15 日(日) 8 日間 現地集合・解散可

月日	都市名	交通機関	時間	行程	食事
1 2/8 (日)	(成田発)	(SK984)	11:40	(空路、北欧の玄関口、デンマーク・コペンハーゲンへ)	機 機
	(コペンハーゲン着)		16:05	(乗継 [EUへの入国手続])	
	(コペンハーゲン発)	(SK410)	17:05	(空路、ストックホルムへ)	
	(ストックホルム着)	(公共交通)	18:15	(到着後、町の中心部の快適なホテルへ) ※現地合流の方は、ホテル集合 [ホテルにて自炊可能] <ストックホルム泊>	
2 2/9 (月)	ストックホルム 滞在	公共交通	午前 午後	ツアーオープニング [案内役挨拶、参加者、予定紹介など] スウェーデンとストックホルム イントロダクション 食を中心とした環境取組みを視察 [生産者、有機やカーボンニュートラル食品、エコラベル、スーパーなど] <ストックホルム泊>	朝
	ストックホルム 滞在	公共交通	午前 午後	市民団体との交流 [温暖化対策と12月コペンハーゲン温暖化国連会議(COP15)に向けての戦略、課題] フリータイム <ストックホルム泊>	
4 2/11 (水)	ストックホルム発 マルメ着	電車	午前 午後	冬のスウェーデンの車窓から風景を見ながら南下、マルメへ [所要 約4時間半] [マルメは、コペンハーゲンと橋で結ばれている便利で美しいスウェーデン第三の都市] 中世からの石造建築物が多く残る、歴史情緒あるマルメ中心部を見学 [ホテルにて自炊可能] <マルメ泊>	朝
5 2/12 (木)	マルメ滞在	公共交通	午前 午後	マルメ市での温暖化対策を視察 フリータイム (※COP15開催地での取組みを見るオプションツアーを計画中) <マルメ泊>	
6 2/13 (金)	マルメ滞在	電車	午前 午後	スウェーデンエコ自治体協会会長の町ヘルシングボリ市訪問 バイオガスで走る市バス、生ゴミのバイオガス化、市の環境教育施設見学など <マルメ泊>	朝
7 2/14 (土)	マルメ発 コペンハーゲン着 (コペンハーゲン発)	電車 (SK983)	午前 15:40	フリータイム チェックアウト後、コペンハーゲンへ [所要 約1時間] (空路、帰国の途へ) <機中>	
8 2/15 (日)	(成田着)		10:40	(成田到着、通関後に解散)	機

※上記予定は訪問先ややむを得ぬ事情により変更になる場合があります。 ※「公共交通」には徒歩も含まれます。



旧市街を臨んで



冬は静かな市庁舎の庭



ストックホルム市庁舎



まちなかの白鳥



鉄道でエコに移動

◆ 第2回 ニュージーランド・ワイボウアの森 ラン&ウォーク参加ツアー ◆



- ◆ 旅行期間: 2009 年 5 月 22 日(金) 出発 【5 日間】 [8 日間]
- ◆ 日程: 成田 → オークランド = ホキアング(2or3 泊) = オークランド(1or3 泊) → 成田
- ◆ 旅行代金: 航空券も手配の場合: 約 20 万円 (詳しいパンフレット 1 月下旬完成)

※ 3 月 18 日(水)六本木トラベルカフェNZ 説明会(2008 年大会の記録 VTR 上映)

- ★ リボーンのホームページが全面リニューアルいたしました。ぜひご覧ください!!
- ★ 5 月に 506 号室から 1203 号室に上昇移転しました。住所末尾のご変更をお願いします。

お問合せ **有限会社 リボーン <エコツーリズム・ネットワーク>**
東京都知事登録旅行業第 2-4850 号 (社)全国旅行業協会 会員
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-2-1 ビューシティ新宿御苑 1203
TEL 03-5363-9216 URL: <http://reborn-japan.com>
FAX 03-5363-9218 Email: eco-tourism@reborn-japan.com

